| 教 員 氏 名 | 松永　康史 | 職　位 | 准教授 |
|---|---|---|---|
| 最 終 学 歴 | 佐賀大学大学院教育学研究科　修士課程　修了 | | |
| 学　　位 | 修士（教育学） | | |
| 役　　職 | | 委員会 | FD 委員会、ゼミ委員会 |
| 担 当 科 目 | 道徳教育の指導法、社会科教育法、社会、保幼小連携基礎論、教育実習指導Ⅱ、教育実習指導Ⅳ、学校インターンシップ指導、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、総合演習ⅡA・ⅡB、卒業研究演習、教職実践演習（幼・小） | | |
| 教科書・教材・教育方法の実践例 | 元小学校教諭の経験を踏まえ、教材研究や授業実践の分析について具体的な検討を行う。また、指導方法の工夫などを学ぶことができるようにする。 | | |
| 教育研究業績 | 1.　「社会科教育と個に応じた指導（2）―個別最適な学びの捉え方―」（単著）『桜花学園大学保育学部紀要　第 29 号』2024 年 3 月<br>2.　「社会科教育と個に応じた指導―『小学校教育課程一般指導資料Ⅲ－個人差に応じる学習指導事例集－』を事例として―」（単著）『桜花学園大学保育学部紀要　第 28 号』2023 年 11 月<br>3.　「『深い学び』の実現を目指す生活科の授業づくり－コロナ禍における実践を事例として－」（共著）『桜花学園大学保育学部紀要　第 25 号』2022 年 3 月<br>4.　「『どっちスピーチ』から課題追究へ」『社会科教育　58 巻 7 号』2021 年 7 月、明治図書、60-63 頁<br>5.　「幼小接続と特別の教科 道徳 ―小学校入学期における道徳科への視座―」（単著）『桜花学園大学保育学部紀要　第 23 号』2021 年 3 月<br>6.　「自己を見つめ直す契機としての対話的な学び－奈良少年刑務所における寮美千子の『絵本と詩の教室』を事例として―」（単著）『中部教育学会紀要　第 20 号』2020 年 6 月<br>7.　「幼小接続期の援助や支援に関する考察－絵本『しょうがっこうがだいすき』を事例として－」（単著）『桜花学園大学保育学部紀要　第 21 号』2020 年 3 月<br>8.　「教師の内面と子ども理解－『鈴木先生』第 1、2 話を教材にした授業の構想－」（単著）『桜花学園大学保育学部紀要　第 20 号』2019 年 11 月<br>9.　「歴史授業と『なりきり日記（作文）－歴史授業において『歴史日記』を書くことの意義を探って－」（単著）『桜花学園大学保育学部紀要　第 18 号』2018 年 10 月<br>10.　「『考え、議論する道徳』と対話的な学び（2）－内容項目『個性の伸長』についての考察－」（単著）『桜花学園大学保育学部紀要　第 17 号』2018 年 3 月<br>11.　「『考え、議論する道徳』と対話的な学び―対話による授業づくりへの視座―」（単著）『桜花学園大学保育学部紀要　第 16 号』2017 年 10 月<br>12.　「幼小接続を見据えた教員養成の在り方に関する研究―幼稚園教諭及び小学校教諭免許取得を目指した教育実習指導の課題と展望―」（共著）『桜花学園大学保育学部紀要　第 16 号』2017 年 10 月<br>13.　「どっちスピーチ」活動の可能性と課題」（共著）『愛知教育大学教職キャリアセンター紀要　第 1 号』2016 年 3 月<br>14.　「模倣による学習に関する事例研究―言語感覚を養う―」（共著）『愛知教育大学教育創造開発機構紀要　第 5 号』2015 年 3 月 | | |

| | |
|---|---|
| | 15.　「市民的な資質をはぐくむための授業づくり―「言語活動」を手がかりにして―」（共著）『愛知教育大学教育創造開発機構紀要　第 4 号』2014 年 3 月 |
| 所属学会 | 日本臨床教育学会<br>日本社会科教育学会<br>中部教育学会<br>日本教育学会<br>日本教育方法学会 |